

札幌市健康づくり事業団から

☎(562)8700

栄養講座

「万病に効く食物繊維」

日時・内容 8月24日(土)午後1時～3時(午後1時から30分)

間の講話、その後、個別相談・レシピ配布など。

会場 東健康づくりセンター

(東保健センター3階)。

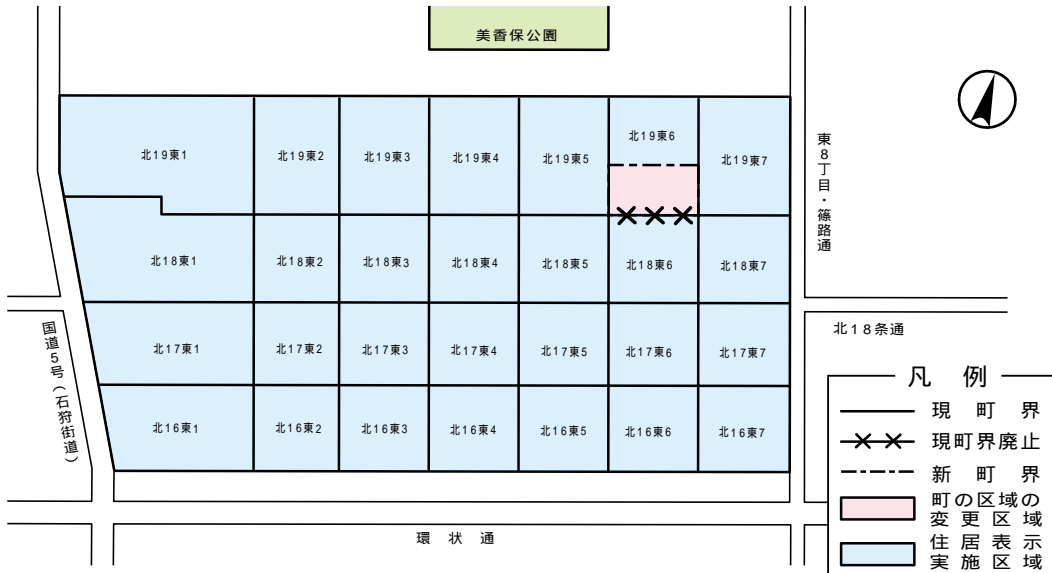
費用無料(直接会場へ)。



住居表示を実施します

9月2日(月)から、下図の区域で住居表示と一部町名変更を実施します。新住所への切り替えに伴い、市で書き換えをする公簿などのほか、ご自分で住所の変更手続きをしていただくものがあります。対象となる区域にお住まいの方には、必要手続きを記載した説明資料を8月下旬にお届けします。

詳細 市民局戸籍住民課(住居表示計画) ☎211 2496



飛行場を建設したのは、株式会社しょうのいけ池組と鉄道工業株式会社の二社です。幾つかの業者が下請けとなり、中には劣悪な条件を作業員に課したり、朝鮮半島から強制連行された人々を働かせたりした会社もありました。勤労奉仕として、市民、生徒、学生も滑走路の建設に動員されています。さらに、札幌刑務所の受刑者も駆り出されました。

一九四三(昭和十八)年七月十八日、飛行場の開設を記念して飛行大会が行われました。このとき旧陸軍第六三戦隊が飛行の腕前を披露しています。この戦隊は後にニューギニアに転戦しました。翌年八月、第五四戦隊が配備され、北海道と千島列島の防空を担います。この戦隊のうち戦闘機二十八機が、フィリピンのレイテ島沖での海戦に参加するため、同年十月に飛行場から飛び立ちました。

空襲を経て終戦を迎える

一九四五(昭和二十)年七月十五日早朝、米軍のグラマン戦闘機

ひくしが すとりー

多くの人を動員して開設する

第17回

空と大地 札幌飛行場(二)

数機が定山溪方面から豊平川上空を北上してきました。戦闘機は、伏古本町地区にある変電所付近の畑数力所に爆弾を投下した後、飛行場へ襲来します。飛行場内北東の兵舎に機銃掃射を浴びせ、爆弾を投下。滑走路の北端にも爆弾を二個投下します。この爆撃によってコンクリート舗装に直径五十センチ、深さ一メートル程度の穴ができました。また、飛行場南西の農家や畑も機銃掃射を浴びています。

戦闘機は、通信隊宿舎として使われていた丘珠神社社務所から滑走路へ向かう兵隊数人の姿を発見し、機銃掃射をしました。兵隊はとっさに木陰に身を隠して難を逃れましたが、近くの農家一軒に約五十発もの弾が命中。このとき家の中に飛び込んだ弾に当たって、一人が死亡、一人が負傷したのです。攻撃を終えた戦闘機は飛行場の西側で反転し、上昇して飛び去りました。

空襲があった日から一カ月後の八月十五日、日本は終戦を迎えました。



開設後間もないころの札幌飛行場

